

赤潮・貧酸素情報（１）

平成30年6月11日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

6月11日に調査を行った結果、八屋地先、宇島漁港地先で、ヘテロシグマ アカシオ (*Heterosigma akashiwo*)による赤潮の発生が確認されました。

○ヘテロシグマ・アカシオ細胞密度

| 番号 | 採水場所 | 採水層 (m) | ヘテロシグマ・アカシオ (細胞数/海水1ml) |
|----|--------|------------|----------------------------|
| ① | 八屋地先 | 0 | 15,000 |
| ② | 宇島漁港地先 | 0 | 8,750 |

- ヘテロシグマ・アカシオは、豊前海で主に5～6月頃に発生し、10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。
- 漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。
- 今後も、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。
- 研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田)までご連絡下さい。

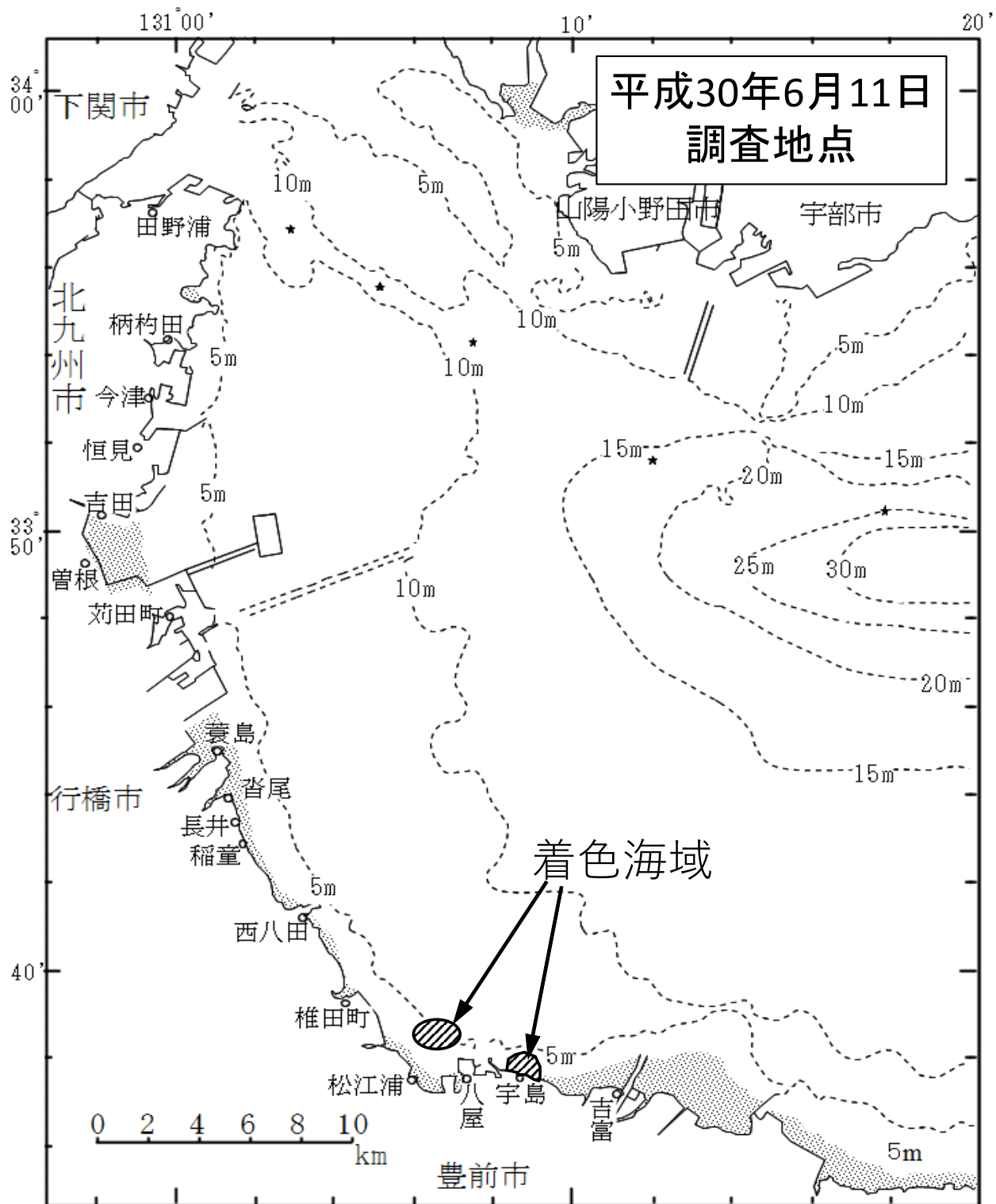


図 赤潮発生海域図